

1 (1) 学校の組織づくり

**こんな実践**

全教職員が主体的に教育活動を行っていくために、1学期から全教職員で教育活動を見直し、課題を整理して、改善策を共有することで、同僚性を高めていった実践です。

実践学校 D小中学校

実践対象 全教職員

実践時期 通年

① 全教職員で自校の成果と課題を共有【6月】

職員会議の後半20分間を利用して、全教職員が4, 5人のグループに分かれ、本校の3つの重点に沿って、強みと弱み、さらなる充実策について、自由に意見交換しました。

右の写真にあるように、日頃教職員が感じていることについて、様々な視点から意見が出されています。

「分析」		強みと弱みと更なる充実	
学校教育目標 基本理念「!町に誇りをもち、次代を担う人材の育成」自主 友愛 克己 躍進			
	強み	弱み	さらなる充実策
学習意欲が高まる学習環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>7~9年 積極的にかわらうと子ども(女)ふんいきよい</li> <li>初 複教の目で見れる</li> <li>TT(算数)</li> <li>マグネットの使用でスタート切りやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>解(何)にルール、けいめい</li> <li>そのほかとのわかれ つかない</li> <li>人の話をきけない</li> <li>のびるかわのむづかしい</li> <li>支援必要な子に自覚きずで がんばり、23子に自覚いかない。(後)授業改善できると</li> </ul>	
相手意識を大切にした暖かな人間関係づくり(特別支援教育の充実)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別(せう)の充実</li> <li>じんごう</li> <li>原級とうまかおみれ2い子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団に入れない子多い</li> <li>あいさつができていない</li> <li>とやましきで、原級の子(う)けとめせられない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やりやすさ</li> <li>あきらめず</li> </ul>
地	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブ、総合の地域ふし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体にふさわしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネートする(あ)か</li> </ul>

Aグループのワークシート



**ここがポイント!**

6月なのに、新しく赴任した教職員は、意見交換できるのでしょうか。

- ✓ 新しく赴任された教職員の違和感を大切にします。「今まではこうだったから」と慣例に流されず、一つ一つの教育活動の価値や意義を確認していきます。

## ② 「Nチーム」で、学校分析【7月】

任意教職員集団「Nチーム」を立ち上げ、「本校の強みと弱み」を分析し、12の課題に整理しました。

☆「Nチーム」…毎月1～2回程度、夕方1時間の会議を行います。本チームは、希望制で、自分の都合の良いときだけ参加します。会議内容は、本校の分析、各種学力調査の分析、授業研究、教職員の悩み相談等です。

## ③ プロジェクトチームで検討、提案【8月～12月】

### 12のプロジェクトチーム

1 学校運営 2 学校行事 3 教育の質を落とさない働き方改革 4 不登校・不  
適応支援 5 特別支援教育の充実 6 支援員のスタイル 7 生活習慣スタイルの  
作成 8 授業スタンダードの作成 9 授業の約束の作成 10 家庭学習の在り方  
の作成 11 学習指導要領への対応 12 児童生徒会の在り方

1学期に整理された本校の12の課題について、プロジェクトチームを立ち上げました。全教職員が、希望制により12のチームのいずれかに所属し、チームごとに検討して、12月の職員会議の場で、それぞれ課題解決策を提案しました。

すぐに実行できそうなことは実行し、その他については、次年度以降の学校教育計画へ反映させました。

このような活動により、教職員間で共通理解が図られ、一丸となって教育活動を実践するようになり、同僚性が深まっています。



### ここがポイント！

課題解決のポイントはどのようなことですか？

- ✓今すぐに実行できそうなこと、時間をかけてじっくり解決していくこと等、区別して検討することにより、各プロジェクトチームは、先を見ながら、より現実的な解決策を提案できるようにしました。

### まとめ

- ・教育活動は、組織的かつ計画的に行うことが大切です。そのために、教職員全員が計画立案に関わり、主体的に教育実践を展開していけるようにします。
- ・リーダーシップを発揮する教職員がいることも大切です。日々の業務に追われてしまいがちですが、場を設定し推進していく教職員が鍵を握ります。
- ・年度末に振り返りを行うことも必要ですが、1学期から日頃の成果や課題を見つめ振り返ることにより、年度途中であっても、改善すべきことは改善していけるようにします。